

2024.10.31



山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2113

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

## 【山口県立山口図書館から臨時閉館のお知らせ】

山口県立山口図書館は、設備改修工事のため、令和6年12月2日（月）～令和7年3月31日（月）の期間、臨時閉館いたします。

臨時閉館中のサービスについては、こちらの二次元コードから詳細をご確認ください。→→



## 【メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！】

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

### ★「幼児のためのおはなし会」

○日時：11月5日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室

○対象：幼児 ○定員：10組程度

### ★「幼児のためのおはなし会 クリスマス・スペシャル」

○日時：11月26日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 第1研修室

○対象：幼児 ○定員：10組程度

◎申込み・連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2113 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

### ★令和6年度「第3回新刊児童書閲覧会」

○日時：令和6年11月23日（土）～11月28日（木）9：00～17：00 ※11月25日（月）は休館日

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしょしつ 3F）

○対象：子どもの読書活動関係者

○定員：一人2時間、各時間帯20名程度（要申込み） ◎詳細・申込みはこちら→



## 【新刊紹介】 価格は消費税抜き

### ＜絵本－乳幼児から＞

『もぐもぐかめかめ』 きたがけめぐみ/作・絵 管谷章世/監修 教育画劇 2024.9 ¥1100

まーちゃんは、これからごはんのじかん。そこへもぐらさんがやってきたよ。まーちゃんともぐらさんが、いっしょにもぐもぐ、ごっくん。そこへかめさんもやってきたよ。みんなでごはんをわけっこして、いっしょにかめかめ、ごっくん。「よく噛んで食べる」ことを楽しく伝える食育絵本。食事の時間を彩る声かけのヒントが満載。監修者は保育園・家庭的保育事業に携わる保育士。

### ＜絵本－3, 4歳から＞

『こまったこまった』 ふしみみさを/文 山村浩二/絵 アリス館 2024.8 ¥1400

さかざになってねむるこもりは、おねしょをしたらかおにかかっちゃって、こまったこまった。てが10ぽんあるたこどうしのあくしゅは、どのてをにぎるかこんがらがっちゃって、こまったこまった。ほっぺにおべんとうをつめたりすや、あしぜんぶにくつをはくむかでは、どうこまった？色々な生き物が自分の生態や特徴のせいで「こまった」シーンをユーモラスに切り取る絵本。

### ＜絵本－5, 6歳から＞

『こぐまのいばしょ』 ブリッタ・テッケントラップ/作 三原泉/訳 BL出版 2024.8 ¥1800

こぐまは、だいすきなもりでいごちよくくらしていた。ところがある日、もりがもえてしまう。あたらしいちをさがすものの、もとのすみかとなっているばしょには、さきにほかのどうぶつがいて、こぐまのおちつけるところはみつからない。とうとうべつのもりにたどりついたこぐまが、こころぼそくてなきだすと…。故郷を離れたこぐまの気持ちの揺れ動きを繊細に描き出す絵本。

### ＜絵本－小学校低学年から＞

『ちいさなかしこいオオカミ』 ヘイス・ファン・デア・ハメン/文 ハネケ・シーメンスマ/絵 野坂悦子/訳 化学同人 2024.8 ¥2200

やまのおこうにすむものしりのオオカミは、もっとかしこくなるためにいそがしくて、みんながわからないことをききにきても「こたえてるひまはないんだ」というばかり。ところがあるひ、おうさまのおもいやまいをなおすためによばれて、とおいおしろへでかけることに。ひとりでいこうとするオオカミをしんばいしたみんなは…。友だちとの繋がりがもたらす豊かさに気づく絵本。

### ＜絵本－小学校中学年から＞

『おばあちゃんの白い鳥 ガザのものがたり』 マラク・マタール/作 さくまゆみこ/訳 講談社 2024.9 ¥1800

馬拉クはパレスチナのガザにすむ女の子。イスラエルのせんりょう下にあるガザでのくらしは、鳥かごとじこめられているかのよう。外に出られなかったとき、絵をかくことが心のささえだった馬拉クは、絵かきになって世界中にとんでいきたいとねがい…。ガ

ザ地区出身の画家である作者が、2014年に経験した軍事侵攻と、その中で持ち続けた自身の夢について綴る自伝的絵本。

#### <読み物ー小学校低学年から>

『シッゲのおうちはどこ?』 スティーナ・ヴィルセン/さく セーブ・ザ・チルドレン・スウェーデン/さく きただいえり  
こ/やく 子どもの未来社 2024.7 ¥1700

小さなシッゲに注意したり帰宅するように言ったりする人はいない。シッゲはママと暮らしているけれどママはいつも疲れている。遊ぶのも食べるのもシッゲひとり。食べ物が無い時もある。ある日知らない人達がやってきて、ママとシッゲは別々のところに…。スウェーデンの絵本作家と児童福祉士が虐待や育児放棄、里親制度をテーマにとりあげ、翻弄される子どもの姿を描く物語。

#### <読み物ー小学校中学年から>

『友だちは給食室のうれしい』 草野あきこ/文 山田花菜/絵 金の星社 2024.9 ¥1400

放課後、学校に忘れ物を取りに来た4年生の壮太の前に、赤いワンピースの女の子があらわれた。女の子は自分のことを学校が建つ前にあったお屋敷にいた座敷わらしだという。壮太は自分の願いをかなえてもらうために彼女におやつを食べさせる計画を立てる。座敷わらしの視点で語る時代の変化も微笑ましい。『友だちは図書館のうれしい』(2021.6)につづくシリーズ第2弾。

#### <読み物ー小学校高学年から>

『アメリカから来た友情人形』 今関信子/作 双森文/絵 新日本出版社 2024.8 ¥1500

1927年米国から日本に両国の親善を目的として贈られた友情人形について調べ始めた6年生の早希(さき)と美久(みく)。贈られた当時は歓迎された人形だが、日米間の戦争が始まり処分の対象となった。激動の時代の中でひっそりと守られた人形のことを調べたいと行動する二人。知りたい伝えたいという純粋な思いを持つ少女たちの姿を描く。取材をもとに創作した物語。

#### <読み物ー中学生から>

『みかんファミリー』 椰月美智子/著 講談社 2024.8 ¥1600

中1の美琴は母と祖母と3人でマンションに暮らす女の子。夏休みのある日、母から同級生の朱美さんと彼女の娘・孫と共同生活をする事になったと報告を受け、古民家へ引っ越すことに。実は、朱美さんの孫は美琴の隣のクラスの野々花で、入学以来話したことはない。2学期が始まって二人は別々に登下校し…。「みかん」をキーワードに、家族の絆を再構築していく物語。

#### <ノンフィクションー小学校低学年から>

『はたらく本屋』 吉田亮人/写真 矢萩多聞/文 創元社 2024.9 ¥2200

大阪の水無瀬(みなせ)にある家族経営の小さな本屋で働くみのるさんの一日の様子を紹介する写真絵本。開店前の店内、お客さんとのやり取り、閉店後の作業の様子などがモノクロながらも表情豊かな写真で綴られる。だれかの仕事によって成り立つ自分たちの生活や、はたらくことについて考えるきっかけとなる1冊。本作はシリーズ配本第一弾。「中華料理店」編と同時刊行。

#### <ノンフィクションー小学校中学年から>

『だれもが「本を読める」社会へ 読書バリアフリー1』 白坂洋一/監修 汐文社 2024.8 ¥2700

様々な理由で本を読むことが困難な人が抱える特性や環境、だれもが本を読めることを期待して制定された「読書バリアフリー法」などについて分かりやすく紹介する。バリアフリー図書や読みやすくするための設備や道具などを解説するシリーズ全3巻。第1巻では、点字図書、大活字本、布の絵本を扱う。それぞれの特徴や歴史、完成するまでの工程や製作者の思いなどの掲載あり。

#### <ノンフィクションー小学校高学年から>

『自分らしく、あなたらしく』 高橋うらら/著 さ・え・ら書房 2024.9 ¥1500

病気や障がいのある兄弟姉妹をもつ子ども「きょうだい児」。難病を抱える妹をもつ高校生の中山穂乃果さんを中心に、彼女を取り巻く環境や行っている活動、関わった団体について紹介する。他にきょうだい児や障がい者の支援に関わる活動をしている弁護士や会社経営者も取り上げる。自身もきょうだい児であった筆者が自分らしくいることの大切さを伝えるノンフィクション。

#### <ノンフィクションー中学生から>

『タコのなぞ 「海の賢者」のひみつ88』 池田譲/著 講談社 2024.8 ¥1800

タコは海に住む生き物で、墨を吐いて、吸盤のある「足」が8本。日本では身近な食糧でもあるタコだが、外国ではその見た目から奇妙で恐ろしい生き物と見られがちで、いまだに解明されていない生態が多い動物の一つ。タコの主食は?イカとタコの違いは?タコはどうやって繁殖するの?など、88の謎を8章に分けて解説。著者は琉球大学理学部教授でイカやタコの研究者。

#### <研究書>

『みんなで学ぼう学校教育と著作権 増補改訂版 著作権の基本から指導まで』 森田盛行/著 全国学校図書館協議会 2024.7 ¥2900

デジタル技術の急速な進歩により、著作物を誰でも簡単に複製できるようになった。本書では、学校図書館に携わる立場の教職員だけでなく、学校教育全般において知っておくべき著作権の基本について解説。児童生徒の発達段階に合わせた著作権指導の略案も掲載。具体的な事例を挙げた著作権Q&Aも収録。生成AIに関わる著作権についての項目が新設された増補改訂版。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→  
<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

